

NUFS DS リテラシー教育プログラム 2024 年度自己点検・評価報告書

2025 年 5 月
自己点検・評価委員会

自己点検・評価の方法について

本プログラムは開始から日が浅いため、全学的な履修状況や修了生の進路、産業界からの評価等に基づく点検・評価を行うには、現段階では時期尚早である。そのため、本報告書では、主に構成科目における授業評価アンケートの結果および学生によるリフレクションペーパーの内容をもとに、現段階で可能な自己点検・評価を行なう。

1. 授業評価アンケートの結果から

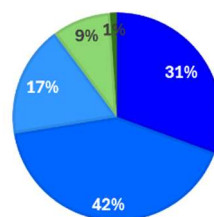
以下、科目ごとに「内容のわかりやすさ」と「授業の有益性」に関する設問結果を分析する。円グラフにおいては、肯定的な回答を青系■■■■、否定的な回答を緑系■■■■の色で表示する。

1-1. 「基礎演習Ⅰ」（履修者数 121 名、うち回答者 98 名[約 80.9%]）

この科目は初年次教育における第1学期の導入的科目であり、数理・データサイエンス・AI 教育に直接関係しない内容も一部含まれている。そのため、今回の授業評価アンケートの結果は、本プログラムに特化した学修成果を示すものではないが、学生が大学での学びに早期から関心を持ち、主体的に取り組む姿勢を形成するうえで重要な役割を果たしていると考えられる。回答者 98 名(回答率 80.99%)のうち、「授業内容がわかりやすい」「進度が適切」「有益であった」とする肯定的回答はいずれも 9 割前後にのぼり、授業の構成や進捗が概ね好意的に受け止められていることがわかる。

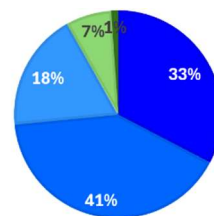
◆ 授業の内容はわかりやすかった。

■ 強くそう思う	30 人	31%
■ そう思う	41 人	42%
■ どちらかといえばそう思う	17 人	17%
■ どちらかといえばそう思わない	9 人	9%
■ そう思わない	1 人	1%
■ 全くそう思わない	0 人	0%



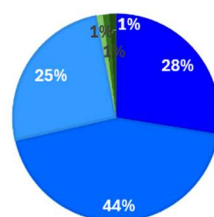
◆ 授業の進度は適切だった。

■ 強くそう思う	32 人	33%
■ そう思う	40 人	41%
■ どちらかといえばそう思う	18 人	18%
■ どちらかといえばそう思わない	7 人	7%
■ そう思わない	1 人	1%
■ 全くそう思わない	0 人	0%



◆ 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

■ 強くそう思う	27 人	38%
■ そう思う	43 人	44%
■ どちらかといえばそう思う	25 人	26%
■ どちらかといえばそう思わない	1 人	1%
■ そう思わない	1 人	1%
■ 全くそう思わない	1 人	1%

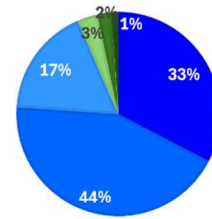


1-2.「基礎演習Ⅱ」（履修者数 120 名、うち回答者 92 名[約 76.6%]）

前掲の「基礎演習Ⅰ」と同様、この科目も初年次教育第2学期の導入的科目であり、数理・データサイエンス・AI 教育に直接関係しない内容も一部含まれている。そのため、今回の授業評価アンケートの結果は、本プログラムに特化した学修成果を示すものではないが、学生が大学での学びに主体的に関わり、基礎的な学修姿勢や情報リテラシーを身につけるうえで重要な役割を果たしているといえる。92 名の回答(回答率 76.6%)のうち、「授業内容のわかりやすさ」「進捗の適切さ」「授業の有益性」について、それぞれ 9 割以上の学生が肯定的に評価しており、教育内容と進め方が概ね学生の期待に応えるものであったことがうかがえる。

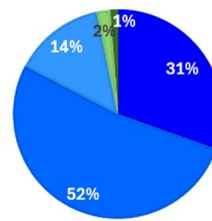
◆ 授業の内容はわかりやすかった。

■ 強くそう思う	30 人	33%
■ そう思う	40 人	43%
■ どちらかといえばそう思う	16 人	17%
■ どちらかといえばそう思わない	3 人	3%
■ そう思わない	2 人	2%
■ 全くそう思わない	1 人	0%



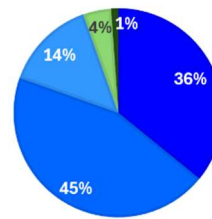
◆ 授業の進捗は適切だった。

■ 強くそう思う	28 人	30%
■ そう思う	48 人	52%
■ どちらかといえばそう思う	13 人	14%
■ どちらかといえばそう思わない	2 人	2%
■ そう思わない	1 人	1%
■ 全くそう思わない	0 人	0%



◆ 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

■ 強くそう思う	27 人	36%
■ そう思う	43 人	45%
■ どちらかといえばそう思う	25 人	14%
■ どちらかといえばそう思わない	1 人	4%
■ そう思わない	1 人	0.5%
■ 全くそう思わない	1 人	0.5%

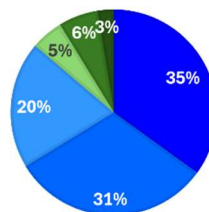


1-3.「基礎演習Ⅲ」（履修者数 115 名、うち回答者 80 名[約 69.5%]）

この科目は初年次教育の第3学期に位置づけられており、数理・データサイエンス・AI 教育に直接関係しない内容も一部含まれているが、「基礎演習Ⅰ」および「基礎演習Ⅱ」と比較すると、データを扱う活動に多くの時間が割かれている点に特徴がある。具体的には、簡易なデータの収集・整理・分析に関する実践的な演習が含まれており、データに基づいた思考や表現の基礎を養う導入的な役割を果たしている。アンケート結果からは、全体として好意的な評価が多数を占めており、授業の構成・進行が学生の理解と学修意欲の向上に貢献していることが見て取れるが、一方で、わかりやすさについてはやや評価が分かれており、今後は用語や説明方法への配慮が求められる。

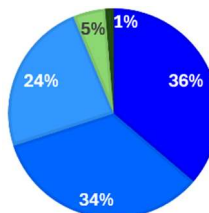
◆ 授業の内容はわかりやすかった。

強く思う	28 人	35%
そう思う	25 人	31%
どちらかといえばそう思う	16 人	20%
どちらかといえばそう思わない	4 人	5%
そう思わない	5 人	6%
全くそう思わない	2 人	3%



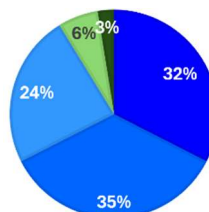
◆ 授業の進度は適切だった。

強く思う	29 人	36%
そう思う	27 人	34%
どちらかといえばそう思う	19 人	24%
どちらかといえばそう思わない	4 人	5%
そう思わない	0 人	0%
全くそう思わない	1 人	1%



◆ 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

強く思う	26 人	33%
そう思う	28 人	35%
どちらかといえばそう思う	19 人	24%
どちらかといえばそう思わない	5 人	6%
そう思わない	0 人	0%
全くそう思わない	2 人	3%

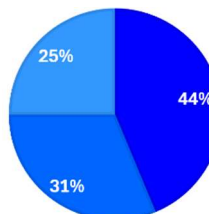


1-4. 「教養演習Ⅰ」（履修者数 20 名、うち回答者 16 名[約 80.0%]）

この科目は数理・データサイエンス・AI 教育に特化した内容で構成されており、本プログラムの中核を担う実践的科目の一つである。ただし、当該年度における履修者数が少なく、授業評価アンケートの回答者も 16 名にとどまるため、統計的な信頼性には限界があり、以下の結果はあくまで参考値としての扱いとなる。とはいえ、「授業内容のわかりやすさ」「進度の適切さ」「授業の有益性」のいずれの項目においても否定的な回答はなく、すべての受講者が肯定的に評価していることから、授業運営が学生の理解促進と学修意欲の向上に大きく寄与していることがうかがえる。

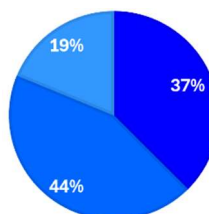
◆ 授業の内容はわかりやすかった。

強く思う	7 人	44%
そう思う	5 人	31%
どちらかといえばそう思う	4 人	25%
どちらかといえばそう思わない	0 人	0%
そう思わない	0 人	0%
全くそう思わない	0 人	0%



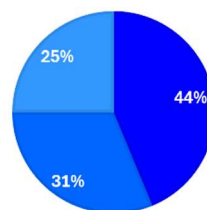
◆ 授業の進度は適切だった。

強く思う	6 人	38%
そう思う	7 人	44%
どちらかといえばそう思う	3 人	19%
どちらかといえばそう思わない	0 人	0%
そう思わない	0 人	0%
全くそう思わない	0 人	0%



◆ 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

■ 強くそう思う	7 人	44%
■ そう思う	5 人	31%
■ どちらかといえばそう思う	4 人	25%
■ どちらかといえばそう思わない	0 人	0%
■ そう思わない	0 人	0%
■ 全くそう思わない	0 人	0%



なお、内容的に後続する「教養演習Ⅱ」は履修者 9 名、授業評価アンケートの回答者は 4 名とごく少数であったため、アンケート結果の分析は行わず、次節にて履修者によるリフレクションペーパーに基づく分析を行うこととする。

2. リフレクションペーパーから

以下に分析するリフレクションペーパーは、数理・データサイエンス・AI 教育に特化した内容で構成される「教養演習Ⅰ」および「教養演習Ⅱ」の履修者が、15 回目の授業の最後に書いたものである。

2-1. 「教養演習Ⅰ」

受講者の声からは、グラフ作成やデータ分析、発表活動を通じて「学ぶことの楽しさ」や「将来への有用性」を実感している様子が見え、また、Excel や視覚的工夫によるプレゼン能力の習得など、本学の文系学生に即した柔軟な教育や、実課題に基づく探究活動の実施も確認できる。さらに、得られた知識の社会的活用を意識する記述も多く、幅広い視野の形成にもつながっており、「数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム」が提唱するリテラシーレベルの理念に沿った教育実践が行われていると評価できる。

- この講義を通して、グラフの作り方、データの分析方法、関数の使いかたなど、将来働くときに役立つような PC スキルを身につけることができ良かったです。講義のスピードも丁度よく、つまずくことがなかったです。今日の発表は各グループ着眼点が面白くて、聞いていて興味深かったです。特にインターネットと睡眠時間の問題は今後の大きな課題になるだろうなと思いました。
- たくさんの数値やグラフが出てきて、正直難しかったです。しかし、毎回出てくるものをしっかりと覚えて、最後のグループ活動では知識を出して協力することができました。パワーポイントを作るときも、やはり数値のまとめやグラフがあったほうが分かりやすいし、太字色使いで相手に伝えたいことを明確にすることは大切だと思いました。
- 発表を聞けて、自分が考えていたような考察を聞けて、新しい内容の分析を見れて面白かったです。この授業を通していろいろなグラフを作れるようになり、分析したものを発表できるまでになれたので良かったです。有益な授業でした。
- 私たちの 5 班は 1 班とタイトルがかぶってしまっていたが、1 班は田舎と都市の比較などもしっていて、すごいと思った。今回の活動をどうして、グラフを用いて報告書を作成するのは大変だが、説得力があり、いいと思った。半年間ありがとうございました。
- 各グループが自分にはなかった考察をしていて面白かった。発表の仕方やパワーポイントの作り方も参考にできる部分が沢山あった。Excel はこれからの社会で絶対に必要となる技術だと思うので、少しでもこの授業で触れることができ、練習できてよかった。

- 本日の授業ではグループ発表を行ないました。それぞれの版画考察や分析などを適切に説明していたため、とてもわかりやすかったです。最初はエクセルが難しく感じていましたが、回数を重ねるたびに Excel の使いかた(グラフなど)に慣れていき、楽しく作業することができました。
- ほかのグループの発表を聞いて、似た内容でも考察が違っており、それぞれしっかり調べ、まとめられていることがすごいと思った。授業全体を通して、始めは Excel についての知識が少なく、操作方法が理解できていなかったが、計算したり表を作ったりできるようになり、しっかり学びがあったと感じた。データの読み取り方など、今後の日常生活、仕事の中でも役に立つことなので、今回得た知識を生かして行きたい。また考察し、数値を使いながら人に説明することはとても大事なことだと感じた。
- 班別の発表を聞いて、グループごとに同じテーマで発表したところもあったが、それぞれの仮説から考察がさまざま面白かったです。

2-2.「教養演習Ⅱ」

受講者の反応からは、AI の歴史や展望、統計データの取り扱い、個人情報保護といった社会的に重要な視点を学び取っている様子がうかがえる。また、学生の関心に基づいた調査テーマの設定や仮説立案、プレゼンテーション活動を通して、数理・データサイエンス・AIについて学ぶ楽しさや探究意欲が醸成されている点も評価できる。

- 各々スライドも見やすく、学生に沿ったテーマで調査票を作っていると思いました。調査を行う上での質問の設定や対象を絞ることで、プライバシーや個人情報に注意しながら統計を扱うことの難しさを学べたと感じます。情報やデータを取り扱う上での注意点や対策、AI の発展してきた歴史から展望まで詳しく学べた授業であったと感じました。
- 3人のプレゼンを聞いて、それぞれの仮説の設定が興味深かったです。特に日常生活の中での行動や意識の変化に注目したものがあり、新しい視点を得ることができました。一方で、説明がやや物足りないと感じる部分がありました。もう少し具体的に説明してくれたら、より納得感が増したと思いました。教養演習Ⅱを通して、データや AI について詳しく調べ、アンケートの取り方や注意事項を知ることができ、有意義なものとなりました。

総 括

本プログラムは開始から日が浅いため、履修率や修了後の進路等に関する包括的な点検は時期尚早であり、現段階では主に構成科目の授業評価アンケートおよびリフレクションペーパーに基づいた自己点検・評価を実施した。初年次教育科目「基礎演習Ⅰ～Ⅲ」では、数理・データサイエンス・AI 教育に直接関係しない内容も含まれるが、特に第3学期の「基礎演習Ⅲ」ではデータを扱う演習が多く、学生の学修意欲と理解の深化に貢献している。「教養演習Ⅰ・Ⅱ」は本プログラムに特化した科目であり、少人数ながらも「学ぶ楽しさ」や将来への有用性を実感する声が多数確認された。実データの分析やプレゼンテーション、AI と社会課題の関連理解に至る学びは、リテラシーレベルにおける「社会的活用」「幅広い視野」「学びの相乗効果」の観点からも一定の成果をあげていると評価できる。今後もこうした定性的分析を基に、教育改善を継続していく必要がある。